

アシュランド・スペシャリティ・ケミカル社と技術提携に合意。  
大日本スクリーン、神鋼、アシュランドの3社で次世代半導体製造プロセスを開発

大日本スクリーン製造株式会社(本社：京都市上京区、社長：石田 明)はこのほど、アシュランド・スペシャリティ・ケミカル社(本社：米国・オハイオ州、担当役員：チャールズ・W・クック Jr、以下：アシュランド社)と技術提携し、株式会社神戸製鋼所(本社：東京都品川区、社長：水越浩士、以下：神鋼)と共同で進めている超臨界流体を用いた次世代半導体製造プロセスの開発プロジェクトに、アシュランド社が参加することで合意しました。

アシュランド社は、フォトレジストの剥離やドライエッチング後の残さの除去に使用される薬液の開発、販売におけるリーディングカンパニー。今回の合意は、アシュランド社が共同開発プロジェクトにおいて洗浄過程で使用される超臨界流体による薬液の研究、開発を担当するというものです。

超臨界流体は産業技術として食品・化学分野で何年も前から使用されていますが、半導体製造分野への応用は基礎開発が始まったばかり。濃度や粘度、拡散性がウエハの洗浄・乾燥に適したものであることから、効果的な応用が見込まれています。超臨界CO<sub>2</sub>は洗浄工程においては、有機溶剤のような性質を持っているため、有機系のエッチング残さなど有機物の除去には効果的ですが、酸化物や銅などの金属を含む無機系のエッチング残さの除去には適していません。そこで、アシュランド社が超臨界流体に添加する薬液を開発し、超臨界流体を有機物残さのみならず、多様な不要物を除去できる薬液へと機能向上させる研究を行うことになりました。

この新薬液の実現で、スクリーンと神鋼は超臨界流体を使用した洗浄システムの確立を目指します。

アシュランド・スペシャリティ・ケミカル社

アシュランド株式会社の子会社で、世界的な特殊薬液の製造会社。超純粋薬液、フォトレジスト除去液や世界の精密機器業界におけるオンサイト薬液マネジメント、製造装置部品の洗浄サービスを提供するリーディング・カンパニーとしての地位を確立。米国をはじめ、イタリア、韓国、台湾に生産工場を持つ。接着剤、自動車、合成、鋳造、商業船舶、ペンキ、紙、プラスチック、半導体業界、水処理業界に薬液を提供。

URL: <http://www.ashspec.com>

アシュランド株式会社は建設、運搬市場を中心に、一般的な産業用品やサービスを世界中の顧客に提供。

URL: <http://www.ashland.com>